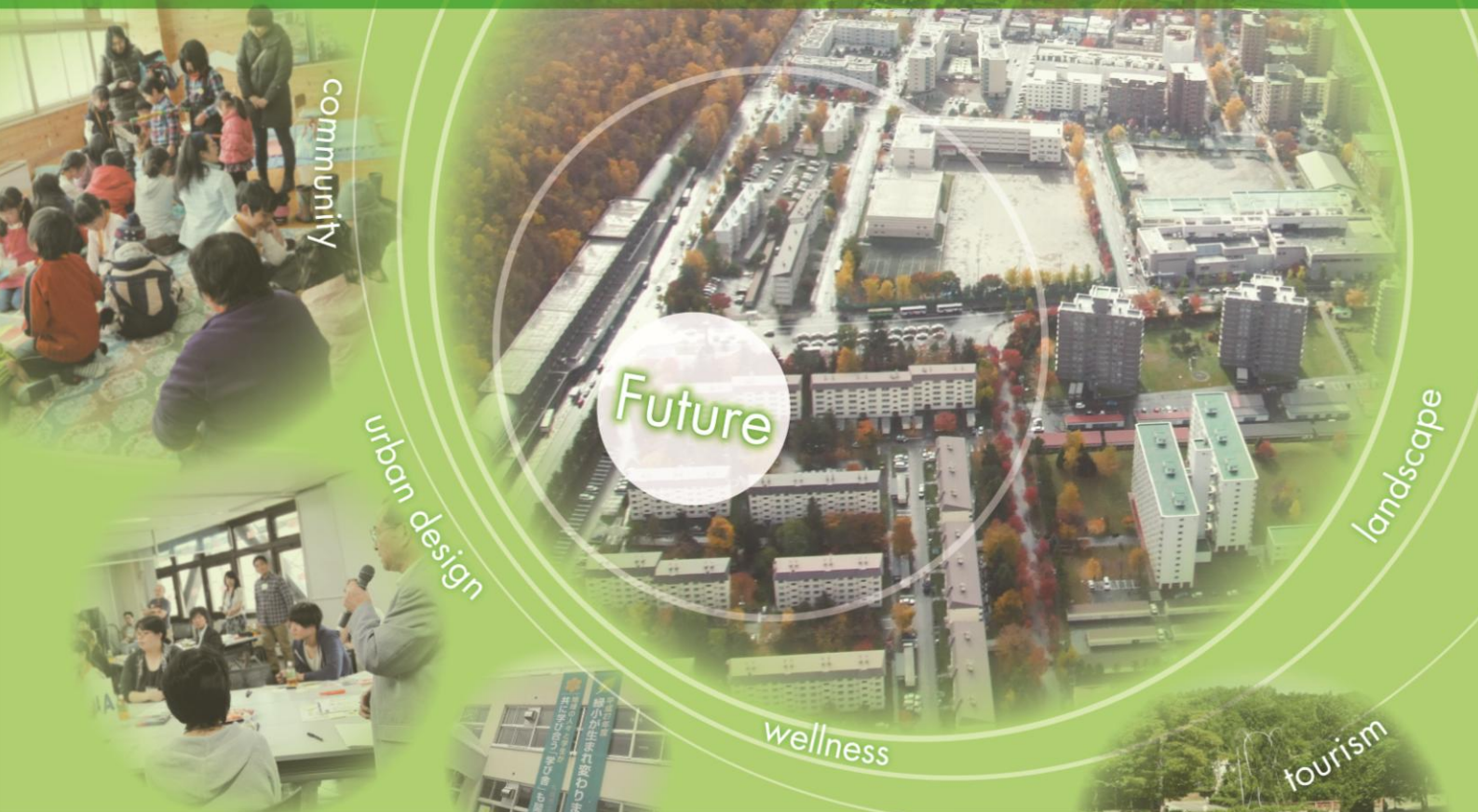


Makomanai Idea competition

真駒内の未来を考える まちづくりアイデアコンペ



真駒内2014～2040

～駅前の交流の広がりから南区の魅力創造へ～

2040年、南区の人口は約30%減少し、高齢化率は50%を超えていると推計されています。

このような時代においては、これまでの右肩上がりの社会構造を前提とした価値観からの転換が求められています。

駅周辺の施設整備といったハード面だけでなく、福祉、コミュニティ、経済・ビジネス、芸術文化、防災、ランドスケープなどソフト面と連携した継続的な取組が必要です。

2040年の未来を見据え、真駒内の再生を進めるためには、2014年の今からどんな取組が必要か、そして、それを今後どう発展させていくべきか、真駒内らしさを活かした様々なまちづくりのアイデアを期待しています。

応募締切

募集要項

平成26年(2014年) 8月15日(金)

主催：札幌市

目 次

1	開催趣旨	1
2	テーマ	2
3	提案対象区域	3
4	応募部門と提案内容等	4
5	賞と賞金	4
6	参加資格	5
7	応募作品の提出方法等	5
8	審査	6
9	審査結果の公表等	8
10	受賞作品の提案者に対する協力依頼等	8
11	個人情報の取扱	8
12	失格	8
13	知的財産権及び応募作品の取扱等	9
14	質問・回答	10
15	スケジュール	10
16	その他	10
17	事務局（問合せ先）	10

様 式

様式1	事前登録票	11
様式2	応募作品提出票	12
様式3	提案趣旨説明書	13
様式4	質問票	14

参考資料

参考資料	15
------	----

1 開催趣旨

札幌市南区真駒内は、昭和 30 年台に造成が始まり、土地区画整理事業により計画的に整備されたみどり豊かな住宅地として発展してきました。昭和 47 年(1972 年)には、札幌冬季オリンピックの主会場となるなど、札幌市の中でも特徴的な歴史を有する地域です。

しかし、このように早くから開発された真駒内では、全国の郊外住宅団地と同様に、人口減少や少子高齢化が進行しており、これらに伴う課題への対応が必要になっています。

このような中、札幌市では、平成 25 年5月に「真駒内駅前地区まちづくり指針」(以下「まちづくり指針」)を策定し、真駒内駅周辺の再生に取り組んでいます。また、札幌市のまちづくりの最上位計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」ではこの取組をリーディングプロジェクトとして位置づけ、南区全体の拠点として再生することとしています。

この取組を展開するにあたっては、社会経済情勢が大きく変化する中で、様々な主体と連携しながら、創造的に取り組んでいく必要があります。

そこで札幌市では、まちづくり指針の実現化に向けて議論の更なる活性化を図るため、「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」を開催することとしました。

都市計画やまちづくりの専門家に限らず、多くの方々に提案いただけるよう、2つの部門を設けています。まちを良くしていきたい皆様からの積極的な応募をお待ちしております。

※ 本アイデアコンペは、今後のまちづくりを考えるヒントとするために行うもので、入選作品が直接事業化されるものではありません。

※ 駅周辺の住民・権利者の方々におかれましては、今後のまちづくりを考える契機と捉えていただき、積極的な参加とご理解・ご協力をいただけるようお願いいたします。

— 真駒内まちづくりコンペに寄せて —



1972年、札幌冬季オリンピックのテーマソング「虹と雪のバラード」には、「町ができる 美しい町が」と、希望あふれるフレーズが謳われていました。そのように整えられた町は、今40年

の時を経て、住民の高齢化とともに老朽化が進んでいます。まちを育て、まちに味わいとにぎわいを生み出すのは、そこに暮らす生活者の知恵です。真駒内の大地や生態系、ツーリズムを支える観光拠点、点在する文化・スポーツ・教育施設、そして札幌らしい暮らしの風景。そのようなさまざまな真駒内の固有資産に目を向けながら、豊かに暮らし続けられるまちのあるべき姿を、おおらかに描き出し提案してください。

委員長 蓮見 孝

— 成長都市から成熟都市への道程 —



1970年代から続いてきた平和な時代をリードしてきた危機感の欠如した建築論や都市論には、持続的な社会・環境などへのリスペクトが乏しく、21世紀に入り、建築家や都市プランナーの姿勢や考え方に

変革が求められていました。2011年3月11日以降の悲劇：東日本大震災を契機にして、日本の社会文化の深いところで何かが着実に変わりつつあります。都市への眼差しも急変しています。その正体を見極めながら、理と情に根ざした眼差しによる創造的提案「成熟都市さっぽろへの姿—真駒内プログラム—」を期待します。真駒内を人間的で創造的なまちへと再生していくための視点(「戦略」「協働」「行程」「空間」)を明確にしながら、これからの郊外ニュータウンに新たな存在意義を持たせることへの挑戦に期待します。

スーパーバイザー 小林 英嗣

2 テーマ

『 真駒内 2014_2040 ～駅前の交流の広がりから南区の魅力創造へ～ 』

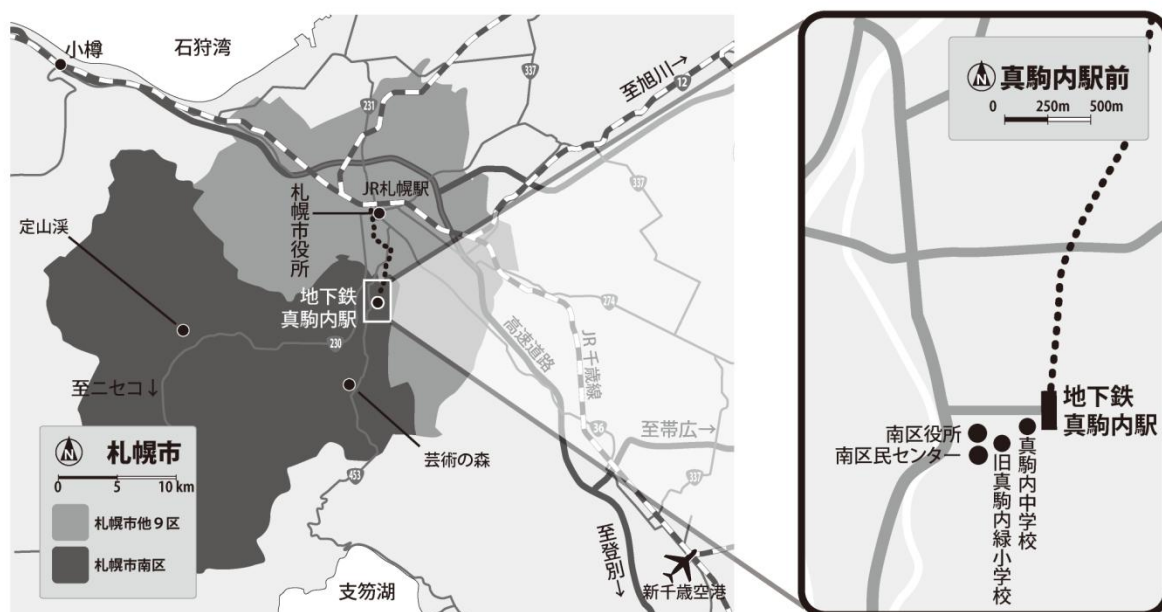
国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040 年には全ての都道府県で人口が減少傾向にあるとされており、札幌市の人口も2010年の約191万人から約171万人へと約11%減少する見込みです。一方、65 歳以上の高齢者は増え続け、札幌市の高齢化率は約40%に達していると推計されています。このような傾向は、真駒内地域のある南区では特に顕著で、2040年の人口は現在より約30%減少し、高齢化率は50%を超えていると推計されています。このような予測データが示されている中で、私たちは未来の暮らしぶりを真剣に考えたことがあるでしょうか。

アイデアコンペの対象とした真駒内は、地下鉄の始発駅として南区の玄関口といえる重要な位置にあり、周辺には豊かな自然や、芸術の森、定山溪など魅力ある地域資源が豊富に存在しています。しかしながら、通勤・通学の通過点としての利用にとどまっている状況も見受けられ、また、駅周辺には、老朽化が進みつつある市有施設が多く立地しており、今後それぞれが更新時期を迎えます。

まちづくり指針では、このような地域特性を踏まえながら、南区全体の拠点として、地域資源を活かした創造的なまちづくりを、多様な主体との連携・協働により持続的に展開していくこととしています。

人口が減少し、経済成長を望みにくい時代においては、これまでの右肩上がりの社会構造を前提とした価値観からの転換が求められています。また、駅周辺の施設整備といったハード面だけではなく、福祉、コミュニティ、経済・ビジネス、芸術文化、防災、ランドスケープなどソフト面と連携した継続的な取組が必要です。

2040年の未来を見据え、真駒内の再生を進めるためには、2014年の今からどんな取組が必要か、そして、それを今後どう発展させていくべきか、真駒内らしさを活かした様々なまちづくりのアイデアを期待しています。

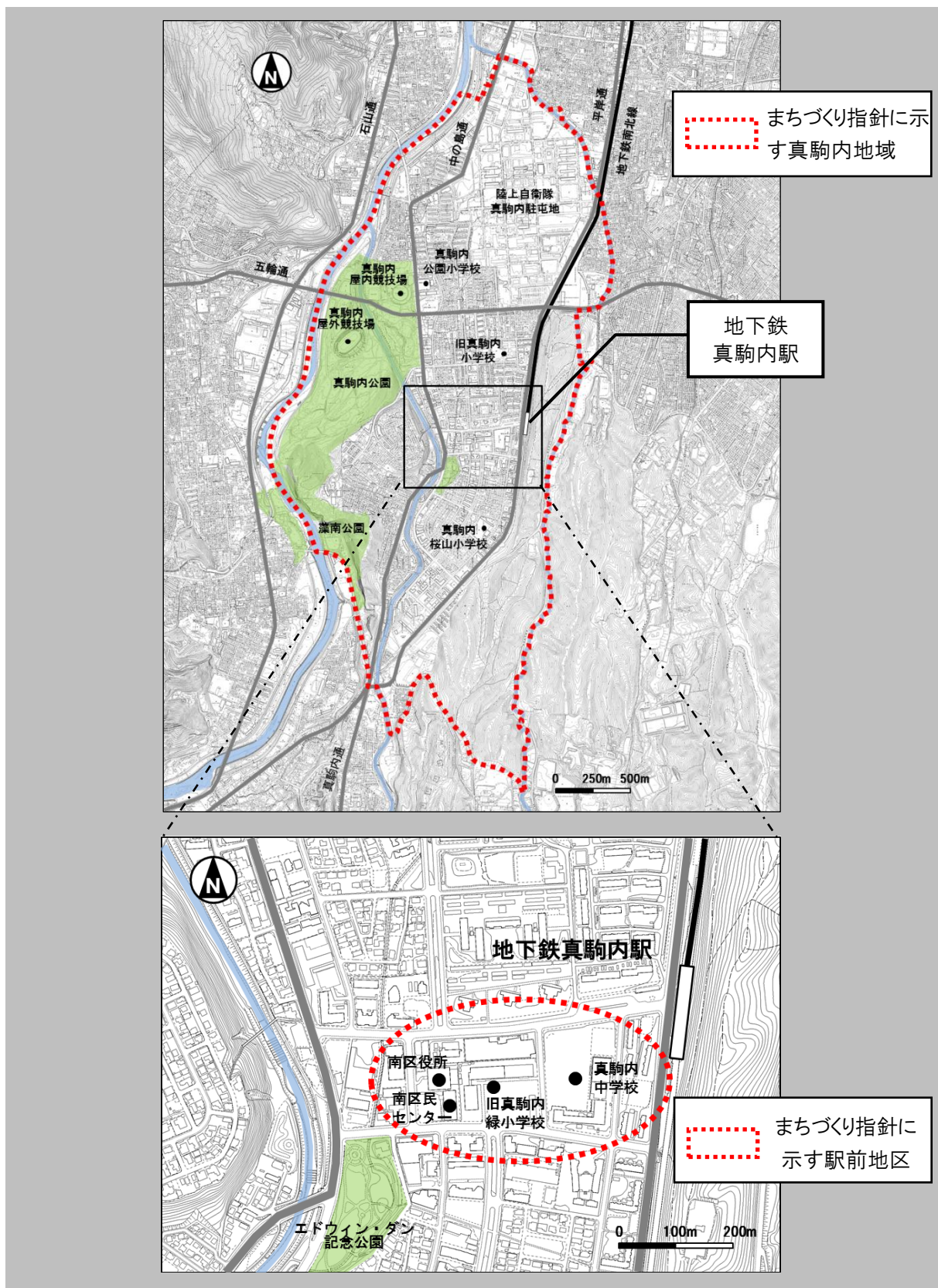


<札幌市と真駒内の位置>

3 提案対象区域

地下鉄真駒内駅周辺の徒歩圏

(徒歩圏の具体的な区域は定めていません。提案内容に応じて、適宜必要な範囲を設定してください。)



<参考図―「真駒内駅前地区まちづくり指針」より>

4 応募部門と提案内容等

以下の2部門からまちづくりのアイデアを募集します。

	(1) パネル応募の部（総合提案）	(2) A4判応募の部（自由提案）
内容	テーマを踏まえながら、まちづくりのアイデアを幅広い視点から総合的に表現してください。	テーマを踏まえながら、まちづくりのアイデアを自由に表現してください。
提出物・仕様	① 応募作品 A1判パネル1枚(594mm×841mm) ※片面で使用してください ※材質・紙質は自由ですが、耐久性に配慮してください。 ※厚さは10mm以内としてください。 ② 応募作品提出票 （様式2） ③ 提案趣旨説明書 （様式3） ④ 電子データ ①③をPDF形式でデータ化し、CD又はDVDに記録したもの ※審査等の一部をPDFデータで行う場合があります。	① 応募作品 A4判(210mm×297mm)1枚 ※片面で使用してください ※紙質は自由ですが、耐久性に配慮してください。 ② 応募作品提出票 （様式2）
表現方法等	<応募作品> 表現方法は問いませんが、視覚的に表現してください。なお、以下の事項は必ず記載・表現してください ① 作品タイトル ② コンセプト及びその設定理由 ③ アイデアを実現化するためのプロセス <提案趣旨説明書> 提案の趣旨について、文章中心の表現で記載してください。	<応募作品> アイデアをイメージしやすいよう、 <u>図表・写真・イラスト</u> などを用いて、なるべく視覚的に表現してください。なお、以下の事項は必ず記載してください。 ① 作品タイトル ② アピールポイント

5 賞と賞金

以下のとおり、賞を授与します。なお、各賞の選定作品数、賞金額等は審査委員会の意見を基に変更する場合があります。

(1) パネル応募の部

賞	賞金	作品数
優秀賞	20万円	2作品
佳作	10万円	4作品

(2) A4判応募の部

賞	賞金	作品数
優秀賞	1万円	5作品

※公開プレゼンテーションに参加できない場合は、賞は授与しません。

※入選者が未成年の場合の賞金の受け渡しに関しては、保護者の方と相談させていただきます。

6 参加資格

個人、グループ、企業、団体いずれも応募できます。国籍、年齢、資格等も問いません。

※グループ、企業、団体（以下「グループ等」）で応募する場合、そのメンバーは1つのグループ等のみでの応募としてください。

7 応募作品の提出方法等

(1) 事前登録

平成 26 年 4 月 1 日（火）～平成 26 年 6 月 30 日（月）

<提出方法>

- ① 様式1により、事前登録票を FAX
- ② ウェブサイト(URL は 11 ページ「17 事務局」参照)の登録フォームから登録

<FAX送付先>

札幌市コールセンター FAX:011-221-4894

※事前登録がない場合でも応募は受け付けますが、事務処理に影響しますので、上記期間を過ぎてしまった場合は、速やかに事務局に連絡をお願いします。

(2) 応募締切

平成 26 年 8 月 15 日（金） 当日必着

<提出方法>

事務局までお送りいただくか、直接ご持参ください。

<送付先>

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階
札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課
TEL:011-211-2545

※直接ご持参される際は、事前に電話連絡してください。受付時間は、月曜～金曜（祝日を除く）9:00～17:00 の間とします。

(3) その他

- ① 使用言語は日本語とします。
- ② 応募作品の損傷が著しく、審査にたえない場合は再提出を求めることがあります。
- ③ 文章等は、読みやすいように配慮してください。判読不能の場合は、審査を行わない場合があります。
- ④ 応募された作品は返却しません。
- ⑤ 応募に係る一切の費用は応募者の負担とします。
- ⑥ 同一の個人、同一のグループ等による複数の応募はできません。また、両方の部門への応募もできません。
- ⑦ 審査において匿名性を確保するため、応募作品には応募者や所属等が特定できる内容の記載やサインを入れないでください。
- ⑧ 提案に当たっては、土地所有者等の権利者の名誉を傷つけるような表現は避けてください。

8 審査

(1) 審査方法と審査の流れ

ア パネル応募の部（2段階審査）

【1次審査】8月下旬（予定）

【審査委員会】

全応募作品の中から、2次審査に進む6作品程度を目安に選定します。

1次審査通過者には、9月中旬頃、個別に公開プレゼンテーション審査の案内を通知します。

なお、公開プレゼンテーション審査に参加できない場合は、2次審査には進めません。



【2次審査】

【事前投票】 9月下旬～10月上旬（予定）



1次審査を通過した作品を公表し、札幌市内の公共施設等で一般の方からの投票を行います。投票結果は、最終審査の際の参考にします。※期間や会場等、実施方法の詳細はウェブサイト等でお知らせします。

【公開プレゼンテーション審査】 10月19日（日）（予定）



公開によるプレゼンテーションを行っていただきます。時間は、質疑応答を含めて15分から20分程度を予定しています。プロジェクター、スクリーンを用意しますので、応募したパネルデータその他、Microsoft PowerPoint等によるスライドが使用できます。

【審査委員会】 10月19日（日）（予定）※公開プレゼンテーション審査と同日

以上の結果を踏まえ、審査委員会による最終審査を経て各賞を決定します。

イ A4判応募の部（1次審査のみ）

審査委員会による審査(8月下旬予定)を行い、入選作品を選定します。(応募作品による審査のみ)

入選者には、9月中旬頃、個別に表彰式の案内を通知します。

(2) 公開プレゼンテーション審査（パネル応募の部）及び 表彰式の日程

以下のとおり開催する予定です。また、関連企画として、パネルディスカッションの実施を予定しています。

【日時】平成26年10月19日（日）13:00～17:00（予定）

【場所】南区民ホール（札幌市南区幸町2丁目2-1）

- 【次第】
- ① パネル応募の部 公開プレゼンテーション
 - ② 審査結果発表（A4判応募の部 → パネル応募の部）
 - ③ 講評・パネルディスカッション
 - ④ 表彰式

※パネルディスカッションは、審査委員会の委員等をパネリストとして、応募作品の講評と共に、未来のまちづくりに関するテーマで実施する予定です。

※公開プレゼンテーション審査又は表彰式に出席する場合であっても交通費は自己負担となります。

(3) 審査委員会

以下の有識者による審査委員会を組織し、審査を行います。なお、パネル応募の部の事前投票・公開プレゼンテーション審査を除き、審査は非公開で行います。

<審査委員>

区 分	氏 名	所 属 等
委員長	蓮見 孝	札幌市立大学 学長
委 員	北原 啓司	弘前大学大学院地域社会研究科 研究科長 日本建築学会 住まい・まちづくり支援建築会議 運営委員長
委 員	前田 英寿	芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 柏の葉アーバンデザインセンターアドバイザー
委 員	八木 由起子	株式会社コスモメディア 編集局 局長 雑誌『poroco』/『北海道生活』 編集長
委 員 (地域住民)	山岸 光生	一般財団法人真駒内社会福祉会 常務理事 真駒内総合福祉センター 館長

<スーパースパイザー(※)>

氏 名	所 属 等
小林 英嗣	一般社団法人都市・地域共創研究所 代表理事 特定非営利法人日本都市計画家協会 会長理事 北海道大学名誉教授

(※)・・・アイデアコンペ全体の総合監修および事務局への助言等を行います。

(4) 審査の視点

テーマを踏まえた以下のような視点からの審査を予定しております。

評価項目	評価内容
① 地域課題への対応	現状分析が適切で、地域課題に的確に対応しているか。
② 先見性	未来を見据えた提案になっているか。
③ 独創性	アイデアのユニークさ、他のアイデアと差別化の程度。
④ 印象度	表現やアイデアのインパクトの強さやアピール度。
⑤ 発展性	新たな交流の誘発・他地域への効果の波及など、発展性のある提案になっているか。
⑥ 総合性(※)	様々な分野の取組が視野に入れられていると共に、実現化に向けたプロセスが考慮されているなど総合的な提案となっているか。

※A 4 判応募の部については、自由なアイデアを募集しているため、⑥総合性の視点は評価項目から除外します。

※審査の視点は審査委員会の判断により変更・追加される場合があります。

※審査結果についてのお問合せには応じられません。

9 審査結果の公表等

(1) 受賞作品の公開・展示

以下の方法による公開・展示を予定しています。

- ・札幌市ウェブサイトへの掲載
- ・旧真駒内緑小学校跡利用施設(※)(平成 27 年度開設予定)での展示
※平成 24 年に閉校した小学校校舎を有効活用するため、現在改修を進めています。
- ・札幌市内の公共施設等での展示

(2) 応募作品集の作成

応募作品は、アイデアコンペの実施記録と共に冊子化を予定しています。

※すべての応募者(失格等、審査対象外となった者を除く。)の ①作品タイトル ②氏名 ③住所(市区町村名まで) ④職業・所属等を掲載する予定です。また、優秀作品については、①～④に加え、⑤応募作品を画像データとして縮小したもの等を掲載する予定です。

10 受賞作品の提案者に対する協力依頼等

提案内容は、今後のまちづくりの取組に参考とさせていただきます。

また、受賞作品の提案者に対しては、今後のまちづくりに関する調査・研究を行う際のアドバイザー、具体的な取組に係る検討メンバーとしての協力等を依頼する場合があります。(平成 27 年度以降)

11 個人情報の取扱

アイデアコンペの実施に係る個人情報については、「札幌市個人情報保護条例(平成 16 年条例第 35 号)」に基づき、適切に取扱います。

12 失格

以下の事項に該当する作品については、審査対象から除外します。また、入選発表後であっても入選の取消や賞の返却を求める場合があります。

- ① 応募作品提出票(様式2)の記載内容に明らかな虚偽があるもの
- ② 応募期限内に提出されなかったもの
- ③ 既に発表された作品と同一または類似のもの、あるいは著作権・意匠権等、知的財産権の侵害であることが明確となったもの
- ④ その他、当募集要項の内容に明らかに違反するもの

13 知的財産権及び応募作品の取扱等

以下の事項をあらかじめご理解いただいた上で、応募してください。

(著作権等の帰属等)

- ① 応募作品の著作権・意匠権等の知的財産権(以下「著作権・意匠権等」という)は、応募者に帰属します。したがって、応募者が応募作品について著作権・意匠権等に関する権利の取得または然るべき保護を必要とするときは、自らの責任でその手続きをするものとし、応募作品についての権利の登録状況、使用実績・第三者への利用許諾の有無および内容を応募時に明記してください。
- ② 札幌市が応募作品について権利の登録等の手続が必要と認めるときは、応募者は、当該手続に協力するものとします。ただし、当該権利の帰属、登録等の手続に必要な費用、その他の事項は札幌市と応募者との協議の上決定するものとします。

(著作物等の引用等)

- ③ 応募者が、他者が著作権・意匠権等を有している著作物等を応募作品の中で引用し、本コンペに応募し、第⑤～⑦項に基づいて、札幌市が当該応募作品を使用することにより、当該他者との間で著作権侵害等のトラブルが発生した場合の責任は、全て応募者が負うこととします。したがって、他者が著作権・意匠権等を有する著作物等を応募作品中に引用する場合、必要に応じて、当該著作権・意匠権等の利用許諾、対価の支払、著作者人格権の不行使の同意等の然るべき手続きは、応募者自身で行ってください。

(著作者人格権の不行使)

- ④ 応募者は、第⑤～⑦項に基づく札幌市による応募作品の使用に対し、著作者人格権の行使をしないものとし、応募作品中に引用された著作物の著作者に著作者人格権の行使をさせないものとします。

(作品の使用等)

- ⑤ 応募者には、札幌市が、応募作品およびその著作権・意匠権等の全てまたは一部を、札幌市のまちづくりの検討に無償で使用することを許諾していただきます。また、提案内容を含め応募作品の内容を一部改変して無償で使用することも許諾していただきます。使用にあたっては、札幌市が、広報活動等で使用を必要とする場合、種々の媒体を通して無償で応募作品を使用することを許諾していただきます。
- ⑥ 応募作品は、展示や作品集の発行などの方法により、公開(電子メディアによる公開も含みます)することを予定しています。
- ⑦ 前2項の場合のほか、札幌市が、応募作品を審査、記録等のために複製することを許諾していただきます。

(同意事項)

- ⑧ 応募者(グループ等での応募の場合はグループ等の構成員全員)は、このコンペに応募することによって、ここに記した事項に同意したものとみなします。

14 質問・回答

応募要項に関して不明な点がございましたら、以下に記載の方法で、質問をお寄せください。

回答は、適宜ウェブサイトに掲載し、最終回答は平成 26 年7月上旬(予定)にウェブサイトおよび事務局で公表・配付します。また、最終回答の公表をもって、本募集要項の追加、修正及び解釈に関する補足とします。

<受付期間>

平成 26 年 4 月 1 日（火）～平成 26 年 6 月 30 日（月）

<提出方法>

様式4により、以下のいずれかの方法で、質問票を事務局へ送付または直接持参してください。

① FAX ② E-mail ③ 郵送（宛先は「17 事務局」参照）

15 スケジュール

項目		時期
募集要項公表		平成 26 年4月1日
質問受付期間		平成 26 年4月1日～平成 26 年6月 30 日
事前登録期間		平成 26 年4月1日～平成 26 年6月 30 日
質問回答公表		平成 26 年7月上旬(予定)
応募締切		平成 26 年8月 15 日
1次審査		平成 26 年8月下旬(予定)
1次審査結果公表		平成 26 年9月中旬(予定)
2次審査	事前投票	平成 26 年9月下旬～10 月上旬(予定)
	公開プレゼンテーション審査 最終審査・表彰式	平成 26 年 10 月 19 日(予定)

16 その他

当募集要項の内容について、変更があった場合は、ウェブサイトに掲載します。

審査委員会の決定事項に異議を申し立てることはできません。

17 事務局（問合せ先）

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階

札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課

TEL:011-211-2545 FAX:011-218-5113

E-mail:toshikeikaku@city.sapporo.jp

ウェブサイト:<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/ideacompe.html>

事前登録票

提出年月日 平成26年 月 日

応募しようとする方は、事前に本票を提出してください。

提出期限:平成 26 年6月 30 日(月)

<個人での提案>

氏名(ふりがな)	
住所	
電話番号	
FAX 又は E-mail	
職業・所属・部署	

<グループ等での提案>

代表者氏名(ふりがな)		
住所		
電話番号		
FAX 又は E-mail		
職業・所属・部署		
共同提案者	氏名	
	職業・所属・部署	
	氏名	
	職業・所属・部署	
	氏名	
	職業・所属・部署	

応募作品提出票

提出年月日 平成26年 月 日

募集要項の内容に同意し、下記の者が作成・提出した作品であることを証し、署名・捺印します。

応募締切:平成 26 年8月 15 日(金)

<個人での提案>

氏名(ふりがな)	印
住所	
電話番号	
FAX 又は E-mail	
職業・所属・部署	

<グループ等での提案>

代表者氏名(ふりがな)	印	
住所		
電話番号		
FAX 又は E-mail		
職業・所属・部署		
共同提案者	氏名	印
	職業・所属・部署	
	氏名	印
	職業・所属・部署	
	氏名	印
	職業・所属・部署	

※応募作品は、展示や作品集の発行などの方法により公開（電子メディアによる公開も含む）することを予定しています。公開する際は、応募作品と共に本票に記載の氏名、職業・所属・部署を公表することがあります。その他の個人情報については、本コンペに関することにのみ使用し、他の目的には使用しません。

<応募作品の著作権・意匠権等の登録状況、使用実績、第三者への利用許諾等がある場合は、その内容についても記載してください。>

--

提案趣旨説明書

＜作品タイトル＞

＜提案の趣旨＞

（注意事項）

- 1 この様式は参考です。「作品タイトル」と「提案の趣旨」の記載があれば様式は自由です。
- 2 お送りいただいた PDF ファイルをそのまま印刷する予定です。
- 3 図表の使用も可能です。
- 4 余白は各辺 25mm 以上を確保してください。
- 5 段組みの設定は自由です。
- 6 文字のフォントは 10 ポイント以上を目安にしてください。
- 7 適切な行間・字間を確保してください。
- 8 特殊なフォントはファイルに埋め込んでください。

質問票

提出年月日 平成26年 月 日

質問しようとする方は、この様式をお使いください。

受付期間：平成 26 年4月1日(火)～平成 26 年6月 30 日(月)

氏名	
電話番号	
質問	

<送付先>

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階

札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課

TEL:011-211-2545 FAX:011-218-5113

E-mail:toshikeikaku@city.sapporo.jp

参考資料

資料は、個別には提供しませんが、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペウェブサイト>

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/ideacompe.html>

(総合計画など)

※リンク先のアドレスは平成 26 年 3 月現在のものです。

- ・札幌市まちづくり戦略ビジョン

<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>

- ・札幌市都市計画マスタープラン

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/master/>

- ・札幌市みどりの基本計画

<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/keikaku/23kihonkeikaku/index.html>

- ・札幌市総合交通計画

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/sogokotsukeikaku/index.html>

- ・札幌の都市交通データ

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/kotsutaikei/index.html>

- ・札幌市景観計画

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/keikanhou/keikankeikaku.html>

- ・札幌市住宅マスタープラン 2011

<http://www.city.sapporo.jp/toshi/jutaku/07toukei/kihon/kihon.html>

(地域の計画・取組など)

- ・真駒内地域の取組

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/index.html>

- ・真駒内駅前地区まちづくり指針

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/shishinsakutei.html>

- ・真駒内まちづくり通信

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/tsushin.html>

- ・南区のまちづくり

<http://www.city.sapporo.jp/minami/shinko/index.html>

- ・札幌市立大学 ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業

<http://coc.scu.ac.jp/>

(その他データ・図面等)

- ・各種統計データ

<http://www.city.sapporo.jp/toukei/>

- ・札幌市都市計画情報提供サービス

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/web-gis/>

- ・現況図

http://www.city.sapporo.jp/keikaku/hambai/genkyo_dejitarudata.html

- ・地価情報（地価公示・地価調査）

<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/chika/index3.html>

- ・バリアフリー化推進マップ（抜粋）

http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/barrier/basic/documents/minami3_1.pdf

- ・壁面線の指定について

<http://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/kakuninn/kokuji/hekimensen/index.html>

SAPP_0